

平成28年度 清掃美化指導計画

1 目 標

- (1) 生徒の環境美化意識の高揚をはかるとともに、公共物を大切にする態度を養い、その実践化をはかる。
- (2) 校舎内外の施設・設備の保全と美化に努める。

2 活動及び指導内容

(1) 年間計画

- 用具の点検・・・・・・・・整美委員会
- 大掃除・・・・・・・・学期の終わり、各行事
- 清掃強化週間・・・・・・・・年3回（6月、11月、2月）
- ワックスがけ・・・・・・・・年度末
- その他整美委員会の計画に添う

(2) 校舎内をきれいにする指導

- ゴミを落とさせない、拾わせる。
- 落書きをさせない。
- 校舎内で走ったり、騒いだりしない。

3 掃除の仕方について

(1) 一中の掃除

- ・機敏な集合・能率良く素早い掃除
 - ・無言の掃除・きちんとした後片づけ

(2) 全体で共通して行うこと

（一部の場所は除く）

- ①掃除の分担場所を明確にしておくこと。《各クラスで分担表の作成》
- ②各場所の掃除の仕方を徹底させること。
- ③授業終了後速やかに移動させ掃除開始のチャイムまでに分担の確認をしておくこと。
- ④掃除の始めと終わりは、整列・礼を必ずすること。《目標、反省、評価》
- ⑤掃除開始後すぐに、1人でゴミ捨てに行くこと。《その日のゴミは翌日》
(月)フリー (火)1年 (水)2年 (木)3年 (金)フリー
- ⑥原則として、雑巾はバケツで洗うこと。水くみと水捨てについてはステンレスの手洗い場を使う。<1階の掃除は保健室前、2、3階は中央ステンレス手洗い場，特別教室>
《各クラス1つバケツを置く》
- ⑦窓拭きは毎日行うこと。運動場側には上がらせない。《通常は乾拭き、時には水拭き》
- ⑧掃き掃除終了後はほうきのゴミも取ること。《各クラスくしを設置する》
- ⑨ゴミ箱はゴミ袋を設置する。
- ⑩クリーナーは随時水洗いをする《フィルターと粉受けケース》

(3) 掃除のやり方

① 掃除開始前

- ・掃除前の授業が特別教室の時は移動前に机、椅子を後ろへ下げておく。
- ・掃除の分担場所を明確にする。《分担表の作成》

- ・各場所の掃除の仕方を徹底する。(各掃除場所に持参すること。)

② 掃除開始後

＜教室・廊下＞

- ・班ごとに整列したら、班長の司会で始めの会をする。
- ・掃除開始のチャイムと同時に、速やかに掃除を始める。
- ・ずみずみまで丁寧に掃き、固く絞った雑巾で拭く。
- ・掃除開始後すぐに、1人でゴミ捨てに行く。(その日のゴミは翌日に捨てる)
- ・2階、3階の運動場側の窓ふきはしない。
- ・給食台をクレンザーで磨き、きれいに拭き取る。台拭きを給食台の上に広げて乾かす。

＜便所＞

- ・床は固く絞った雑巾で水拭きをする。(ゴム手袋を利用しても良い)
- ・便器の中はブラシで磨き、周りは雑巾で拭く。(ゴム手袋を利用しても良い)
- ・通常時は中性洗剤。大掃除には酸性洗剤を使用。(ただし、教員の指導のもと)

＜外掃除＞

- ・校舎前通路、溝、階段の土を掃く。
- ・自転車置き場は竹箒などを利用する。
- ・雨天の場合、校舎内(図書室、職員室、パソコン教室、多目的等)の内側窓ふきをする。

③ 掃除終了

- ・2分前には片づけを始め、掃除道具の整理・整頓をする。
- ・班ごとに整列し、反省会を行う。班長は点検カードに記入し、清掃ができていない場合は放課後居残り掃除をする。
- ・チャイムと同時に終了し、速やかに「帰りの会」の準備に入る。

(4) 掃除監督者の役割

- ①掃除の仕方や道具の使い方の指導。
- ②状況を見て生徒と共に汗を流す。
- ③活動状況を評価してやる。
- ④怠けている生徒を見逃さない。
- ⑤時間を守る・守らせる《短学活に遅れないこと》。
- ⑥居残り掃除は放課後にさせる。
- ⑦きちんとできるようになるまでは、生徒の任せきりにしない。
- ⑧学年主任は学年の掃除状況を把握しておく。
- ⑨特別教室は担当教諭で開閉すること。戸締まりの確認をする。
- ⑩担当者が出張の場合は、学年団で対応する。

4 掃除道具について

- 壊れた掃除道具は監督者が責任をもって修理する。
- 修理不可能な物は交換し、整美担当に報告する。
- 消耗品は掃除担当で交換し、整美担当に報告する。
- 特別教室や体育館等の雑巾は担当のクラスで補充する。

5 その他

- 消耗品の保管場所
- ・ゴミ袋(黒の大小・透明)、手袋→保健室横
- ・消臭剤、トイレクリーナー→保健室
- ・その他の掃除用品(トイレトペーパー、ほうき、ちりとり、トイレスリッパ等)→1F倉庫